

令和8年度 第1回学校運営協議会 会議録 議題「学校再編に向けて」

日時：令和8年7月13日（月）16:00～16:52

場所：洲本第一小学校2階会議室

参集範囲：洲本第一小学校学校運営協議会委員、学校関係者、教育委員会

【委員からの主な意見】

●統合の必要性・児童数に関する意見

- ・第一小は複式学級となる可能性も薄く、児童数も増える見込みであるため、統合の必要性は感じにくい。
- ・児童数が多い方が、色々な経験ができて、教育効果も高いのではないかな。
- ・授業は少人数の方が行き届くが、少なすぎると学びの幅が狭くなるのではないかな。

●災害リスク・立地への懸念

- ・統合先の第二小学校は海に近く、津波時の安全性が心配。
- ・避難ルート・建物強度・災害対策を明確にしないと住民理解は得られないのではないかな。
- ・第一小学校は山への避難が近く安全性が高い。
- ・中心市街地に学校を置く都市計画の意図は理解できるが、災害面の説明が不可欠である。

●地域性・校区文化への言及

- ・昔は第一小・第二小で社会的背景に差があると言われた時代もあったが、現在は薄れている。夏祭りなど地域行事の競争意識が残っている可能性はある。
- ・校区ごとの「学校の色」が統合で失われる可能性がある。

●スクールバス・通学安全

- ・海に近くなること、橋を渡る通学の安全性が心配される。
- ・スクールバス運転手の確保が難しく、運行計画が不安定で、徒歩通学距離が伸びる可能性もある。

●教職員配置の課題

- ・統合により教員数が余るのであれば、クラスに先生を増やすことはできないかな。
- ・統合までの間は、新規採用職員を調整して、臨時職員を確保すれば良いかな。

●地域の反応・住民理解

- ・小学校がなくなることについては、保護者よりも地域住民の反対が強いのではないかな。
- ・「少人数なら他校へ行かせる」という保護者もいる。
- ・統合するなら新しい学校に一度に統合の方が理解されやすいのではないかな。